

◀ 材料/製造プロセス技術の両面から各応用分野におけるガラスと樹脂の特徴(長所・短所)徹底比較 ▶

透明耐熱樹脂/フィルムの 高機能化とガラス材料とのハイブリッド化技術

透明性を損なわず求められる耐熱性・光学特性・寸法安定性・水蒸気透過性・耐衝撃性・誘電率・高級感などを付与するポイント

●日時 平成25年10月31日(木) 9:45~16:40 ●会場 [東京・大井町] きゅりあん 4F 第2特別講習室

●聴講料 1名につき 65,100円(消費税込、昼食付き・資料付) [1社2名以上同時申込の場合、1名につき59,850円]

セミナーHP⇒ http://www.gijutu.co.jp/doc/s_310413.htm

1. デバイスの観点から見たフレキシブル基材への要求

Ukai Display Device Institute【元 ソニー(株)】 鶴飼 育弘 氏

1. 各種フレキシブル基材の種類と特徴 (9:45~10:55)

プラスチック、SUS、ガラスなど各々の基材の物性と特徴

2. フレキシブル基材と生産方式 (枚葉、転写、ロール・ツ・ロールなど)

3. 各種デバイスと基材(基板)の要求事項

(ディスプレイ(LCD,OLED,EPDなど)、太陽電池、タッチパネルなど)

3-1. 物理特性として

3-1-1. 表面の平坦性・清浄度 3-1-2. 低アウトガス特性

3-1-3. 低光学欠陥 3-1-4. 高透過率

3-2. 機械的特性として

3-2-1. 高温下での寸法安定性 3-2-2. 低吸水性(低吸湿性)

3-2-3. 低収縮率 3-2-4. 低熱膨張係数

3-2-5. 耐化学薬品性 3-2-6. ガスバリア性

3-3. 耐プロセス・生産性として

3-3-1. 印刷性 3-3-2. 加工に自在性(切断等)

3-4. 信頼性・耐久性

4. フレキシブル基板を用いたデバイスの開発・実用化事例

(ディスプレイ(LCD,OLED,EPDなど)、太陽電池、タッチパネルなど)

4-1. フィルム: 太陽電池、タッチパネル、ディスプレイの実用化例および開発事例

4-2. SUS: ディスプレイでの開発事例

4-3. ガラス: ディスプレイ・太陽電池の開発事例

5. 市場と今後の動向 おもにディスプレイ市場におけるフレキシブル化の動向を紹介

【質疑応答・名刺交換】

2. ガラス材料の特徴と樹脂材料とのハイブリッド化技術

(株)機能性ガラス研究所 藤田 卓 氏

1. はじめに(タッチパネルの市場動向と方向性) (11:05~12:15)

2. 車載用/モバイル用/タブレット用タッチパネルのトレンド

3. 薄板ガラスの製造方法

3-1. 初期の薄板ガラス製造方法 3-2. フルコーラ法 3-3. フロート法

3-4. フェージョン法 3-5. ダウンドロー法 3-6. ケミカルエッチング法

3-7. 今後の薄板ガラス製造のポイント

4. 極薄ガラス材料の扱い

5. 極薄ガラスのソリ修正

6. 薄板ガラスの普及のための取り組み

6-1. 極薄ガラスの巻き取り 6-2. ポリマーコートガラスの開発

7. 車載用のガラス/ガラスタイプ抵抗膜式タッチパネルの

極薄ガラスをハイブリッド材、樹脂材に置き替えるための条件

8. ハイエンドなガラス代替材開発による新規市場開拓の可能性と要求される技術

【質疑応答・名刺交換】

3. PC樹脂フィルムの光学特性向上と求められる機能性付与

バイエルマテリアルサイエンス(株)【元 ソニー(株)】 柿沼 孝一郎 氏

1. ポリカーボネート樹脂の概要と特徴 (12:50~14:00)

1-1. 透明樹脂の概要と特徴 1-2. ポリカーボネート樹脂の特徴

2. ポリカーボネート樹脂の各種特性

2-1. ポリカとアクリルの諸特性比較

2-2. 難燃性評価方法 2-3. 耐熱性、光学特性解決のアプローチ

3. ポリカーボネート樹脂・フィルムの応用 要求特性と具体例

3-1. LED照明用途への要求特性と具体例

・輝度均一性/ムラ/時間変化 ・放熱対策とパッケージの耐熱性

・色温度、寿命と耐候性 ・樹脂のLED照明への課題と対策

・ポリカーボネート製 光学部品の実例

・ポリカーボネート製 光学フィルムの具体例

3-2. タッチパネル用途への要求特性と具体例

・タッチパネル用途への要求特性

・ポリカーボネートフィルムのタッチパネルへの応用

4. 課題と将来展望並びに弊社のご紹介

【質疑応答・名刺交換】

4. ガラス代替に向けたシクロオレフィンポリマーの

特性向上と求められる機能性付与

日本ゼオン(株) 池田 功一 氏

1. 透明プラスチック基板の概要 (14:10~15:20)

1-1. 開発背景 1-2. 特徴と課題 1-3. 開発ターゲット

2. 透明プラスチック基板材料としてのシクロオレフィンポリマー(COP)

2-1. シクロオレフィンポリマー(COP)とは 2-2. 光学特性 2-3. 耐熱性

2-4. 水蒸気透過性 2-5. 耐衝撃性 2-6. 低吸着性 2-7. 微細転写性

3. シクロオレフィンポリマー(COP)の応用

【質疑応答・名刺交換】

5. ガラス代替に向けた耐熱透明フィルムの

特性とデバイス基材への応用

ゲンゼ(株) 石井 良典 氏

1. 耐熱透明フィルムの概要 (15:30~16:40)

1-1. 開発の背景 1-2. 特徴・特性

①耐熱性 ②光学特性 ③寸法安定性 ④大型対応

2. フィルムデバイスへの耐熱透明フィルムの適用

2-1. アプリケーション例

①高耐熱低反射タッチパネル ②フレキシブル太陽電池基板

③有機EL用低反射フィルム ④電子ペーパー用基材

2-2. 耐熱フィルムへのニーズ

①フレキシブル化 ②軽量・薄型化 ③生産性の向上

3. WET&DRY技術による機能付与

3-1. WET技術による機能付与(ハードコート他)

3-2. DRY技術による機能付与(透明電極、ガスバリア他)

3-3. 機能膜形成による用途例(タッチパネル、電子ペーパー他)

4. 新開発フィルム

4-1. 靱性改善フィルム(靱性を改善しプロセス適性を向上)

4-2. 薄膜化フィルム(更なる薄膜化を実現)

【質疑応答・名刺交換】

セミナー申込書(希望セミナーにレ印をご記入ください)

会社名	〒	事業所 事業部	<input type="checkbox"/> 「透明耐熱樹脂」・ No.310413・10/31
住所			<input type="checkbox"/> 「反射防止膜」・ No.310432・10/30
TEL		FAX	
所属部課 役職名	氏名(フリガナ)	e-mail	
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)			【 郵送(宅配便)・FAX・e-mail 】

ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師の方へもお知らせいたします)。個人情報の詳しい取り扱いにつきましては、宛名の用紙、又は下記URLをご参照ください。
<http://www.gijutu.co.jp/privacy.htm>

 **技術情報協会** FAX 03-5436-5080
TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD. 【申込専用】